

令和8年6月17日

東京総合美容専門学校  
学校長 畠山知代美

学校関係者評価委員会

## 学校関係者評価委員会報告書

2026年度学校関係者評価委員会につき、下記の通り報告します。

### 記

#### 1 開催状況

日程 : 令和8年6月17日 (火)  
会場 : 東京総合美容専門学校 会議室

#### 2 報告内容

別紙の通り

以上

## 【別紙】

### 基準1 教育理念

- 学生にとって基本的な挨拶や時間厳守は非常に重要であり、これらの土台がしっかりしている学校の卒業生ほど目的に向かって進む傾向が強いという印象を受ける。今後も、挨拶や時間厳守などの基礎的な生活指導を継続して行ってほしい。

### 基準2 学校運営

- チャットやスプレッドシートを活用した効率的なミーティングの実施、ネット購買システムを利用し現金取引を削減することなどで教職員の業務効率化に取り組んでいる。
- 留学生が日本で就職することは可能なのか。  
→特定美容活動ビザを取得することで就職が可能。受け入れ先サロンとの連携を進めていく。

### 基準3 教育活動

- 電子黒板を活用した授業を継続実施しており、DXの観点からも評価できる。今後は動画や写真を用いたより分かりやすい教材作成に努め、活用の幅を広げていければよいと思う。

### 基準4 学習成果

- ネイリスト技能検定1級において、全国平均合格率が50%程度の中、合格率100%（全員合格）という素晴らしい成果を達成した。学生の自信につながるものと評価する。
- 卒業生ネットワークの構築のため、技術交流会や店舗の経営・運営に関する学びの場を設けることで、より活発で継続的な交流を可能にすることができるのではないか。

### 基準5 学生支援

- 就職率については、定期的な会社説明会の実施、コース別授業でのサロン紹介、1年次からの「夢を叶える授業」の実施により、ほぼ100%を達成している。
- 退学率については年間5%以内という目標に対し、入学初期の退学が課題となっている。入学前のミスマッチ防止策について考える必要があるのではないか。
- 担任だけでなく、多くの教員と関わる機会を設けることで、学生との良好なコミュニケーションを図ることが重要である。複数の教職員による支援体制を構築することで、学生の悩みや不安を早期に把握することができるのではないか。

#### 基準6 教育環境

- 校外実習について昨年度より増加させているが、希望制のため参加者に偏りがある。より多くの学生が外部での見聞を広められるよう、全体数をさらに増やしていく。
- 海外研修として韓国研修を実施し、学生からの評判も良好であった。

#### 基準7 学生募集と受入れ

- 2026年度入学生は前年度よりも増加しており、世の中のニーズに合わせた募集活動が行えているものと評価できる。
- 国際化・グローバル化の流れに適合した独自性を持った技術者の育成に取り組んでいていただきたい。

#### 基準8 財務

- 学校の財務状況は安定しており、問題ないと考える。

#### 基準9 法令等の遵守

- 大きな問題はないと考える。

#### 基準10 社会貢献・地域貢献

- 地域行事やボランティア活動への参加など、国際ビューティーコースの学生が地域住民と交流する場を設け、異なる文化や価値観への理解を深める機会をつくることを検討している。

以 上